

教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

教員養成の目標

①大学

本学の建学の理念は、「市民的自覚と中道精神の振興」及び「実践的な学風の確立」、つまり「広い視野と偏ることのない精神と判断力を持って、社会において指導的な役割を果たす人材を育成する」という建学の理念を掲げ、教育研究体制の充実を図るとともに、各分野において教育研究の実績をあげることに努力してきた。この理念は、「産業と大学は、車の両輪のように一体となって、時々の社会のニーズを満たすべきである」とする建学の理想「産学一如」を実現するために不可欠である。

本学は、この建学の理想「産学一如」の実現を目指して教育・研究体制を整備している。すなわち「学」（大学）と「産」（産業界）との連携（理論と実践の統合）、さらには「学」を「産」に活かす教育を志向している。また、建学の理想に支えられて、グローバルな社会・知識基盤社会として特徴づけられる 21 世紀の要請に対応できる人材の育成を目指しており、さらに、社会科学系・理工学系・国際文化系の学部・研究科に加えて、芸術系の学部・研究科を擁する総合大学である本学は、このような教育の実践を可能としている。

②学部・学科等

本学は、上記の理念・理想のもと、先駆的に九州を中心とする西日本地域における幅広い分野の人材育成という役割を果たしてきた。今回の再編において、建学の理想「産学一如」のもと、地域産業との連携、国内外の大学との共同研究や人的交流及び「基盤的な知識」を基にして、「論理的思考力」、「表現力」、「コミュニケーション力」、「感性力」、「実践力」の 5 つの能力を有し、高い知性と優れた感性を持つ専門家の育成を行う。

また、学部教育において、教養科目、外国語科目、キャリア科目、専門科目から構成された体系的な教育科目を構成し、新しい時代の要請に応え、地域と人類社会の発展に寄与する有能な人材の育成を目指す。

2) 教員養成に対する理念・構想

本学の教員養成においては、幅広い分野から人材を集め教員組織を多様なものとするという我が国の教員養成の原則のひとつである「開放制の教員養成」という理念を実現すべく、総合大学としての特色を活かしつつ基礎的・基本的な知識・技能の修得のみならず、多様な学修による多様な領域の専門性の向上を目指している。さらに次世代の担い手である児童・生徒の発達や個性に応じた適切な指導ができる専門的職業人としての知識・技能を備えた教員の養成を理念としており、この理念を実現することは本学に与えられた社会的使命であると考えている。

そのため、以下の目的に重点を置きながら、全学的な協力・指導体制をもってこの理念の実現に取り組み、わが国の次世代の担い手に対してふさわしい教育者の養成を目指す。

・教育者にふさわしい人間性の育成

多様な学修に基づく専門的職業人としての知識・技能を教育現場において活かすためには、教員としての基本的資質、すなわち人と深く関わることのできるコミュニケーション能力や協調性及び教育者としての使命感を備えていることが前提となる。本学では、平成 26 年度から教養を身につけグローバル社会で活躍できる心身共に健全な人間教育の実現のために導入した「KSU 基盤教育」において基本的資質に裏づけられた教育者を育む。

・教員に求められる専門性、実践的指導力の養成

今日のように多様な個性をもつ児童・生徒を対象に教員としての職責を全うするためには、様々な課題を持つ児童・生徒と向き合い具体的かつ効果的な指導や援助ができなければならない。そのため本学では、各学科の専門分野に関する総合的な知識・技能と学科間の連携による他分野の幅広い知識・技能の修得を可能にするカリキュラムを整備するとともに、PBL 教育、インターンシップ、福岡市内の小中学校における学生サポーター制度、各種ボランティア活動等の実践的な教育活動への参加を通じて専門性と実践的指導力を持つ教員を養成する。

・自らの資質を向上し続け、正解の見えない問題を解く力と自己教育力の獲得

変化の激しい現代社会にあっては、教職についた後も、教育者としての知識及び技能を生涯にわたって高めていくことが求められている。本学では「キク・シル・ウゴク」を合言葉に年間 120 以上のアクティブ・ラーニング又は PBL 教育を展開する「KSU プロジェクト型教育」において、学生の「正解の見えない問題を解く力」を育成する。さらに、同教育において「実践力」、「共創力」、「統率力」を身につけることにより、学生の自律的志向を高め、自らの資質を向上し続けるための不断の努力を可能にする自己教育力を養成する。

以 上